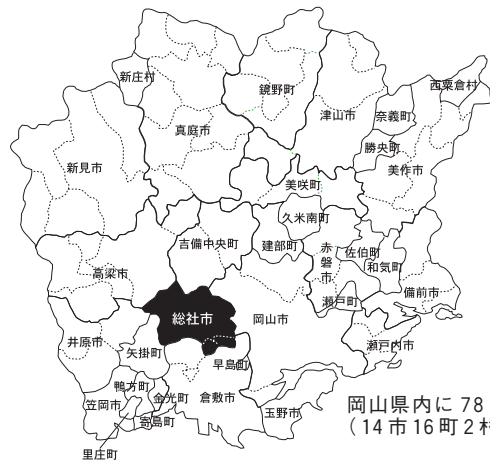


3^{昨年}月22日新しい総社市が誕生しました

一年半のみのり

旧総社市・山手村・清音村は、古来より吉備路を中心に歴史的・文化的な結びつきが深く、さらに生活圏や教育圏を共有してきた。3市村は、平成17年3月22日に合併。新生・総社市は、「地域・文化・自然が支える心豊かな生活交流都市」を目標に掲げ新たなスタートをきった。



岡山県内に78あった市町村は平成の大合併で32(14市16町2村、平成18年1月現在)に再編された

記念すべき合併当日となった平成17年3月22日、午前8時から本庁舎、山手・清音支所で開式が行われました。本庁舎では、多くの市職員や関係者が見守る中、消防職員によって新しい市旗が掲揚(右下写真)されました。その後、市長の職務執行者を務める風早豊源旧山手村長が「市民の参画の

もと、交流と連携によって地域の一体性を確立していくことが、新しい総社市の第一歩になります」と式辞を述べました。風早豊源市長職務執行者、乗田交三前旧総社市教育長らによってテープカットが行われ、新市のスタートを祝いました。山手・清音支所でも同様に市旗が掲揚されました。また、支所名を記した看板の除幕も行われました。

初代市長に竹内氏

新・総社市の市政の舵を取る総社市長選挙が平成17年4月17日、市内35か所の投票所で行われ、開票の結果、初代市長に旧総社市長の竹内洋二氏が当選しました。

翌日の18日、総社市役所本庁舎に自転車で初登庁した竹内市長は、市民や議員、市職員ら約500人に拍手で迎えられました(左下写真)。後援者や市職員から歓迎の花束を受け取った後、正面玄関前で、次のようなあいさつをしました。

「私は、新・総社市のこれからの将来を皆様方と共に築いて

まいりたいと思います。平成17年の合併が意義ある合併であったと言っていただけのように、また、山手・清音・総社地区においても評価していただけるような合併に仕上げていきたいと思っています。合併は究極の行政改革と言われております。さらに、これからも皆様方と苦勞を分かち合いながら、協力し合いながら、力を合わせ、私たちのこれからの次世代を担う子供たちのためにも精一杯働いてまいりたいと思います」

さらなる飛躍を誓う

新・総社市の面積は、212km²。人口6万6589人(平成17年10月1日現在・国勢調査速報数値)を数え、岡山市、倉敷市、津山市、玉野市に次ぐ、県内5番目の都市になりました。市では、現在、今後10年間のまちづくりの指針となる総合計画を策定中です。合併によるスケールメリットを最大限に生かして、新しく誕生した総社市民一人ひとりが「住んで良かった」「住み続けたい」と真に実感できるまちづくりを進めます。

